

花の台ホールだより



2023.10.21
NO.6(496)
花の台ホール指導員

いよいよ明日は ことま祭り&バザーです。肌寒いかもしれませんが、天気も良さそうでホッとしています。

いつもいつも思うことですが、地域の中で 老若男女いろんな人たちが楽しめるまつりを1つの学童でやっているなんて、“すごい!!”と思います。

手作り感あふれるあそびのコーナーで、1年生も含めお客さんたちが楽しめるようにがんばってる子どもたちの姿、子育て中の現役のお父さんお母さんたちが模擬店にバザーに生き生きと走りまわってる姿、がんばってもちをついているちよとベテランなかんじのお父さんお母さんの姿、今時の若者たち(中・高・大学生)が、スーパーボールすくい屋で一生けんめい働いている姿、そして今年も元指導員の佐々木さんが、手作り布製品を提供してくれます。どの姿も本当に素敵です。

お客さんの中には、直接「こんなこともできるんですね。すごいですね」「がんばってるね!」と声をかけてくれる方もいますが、花の台のみんなが楽しそうに一生けんめいやっている様子を見て、「花の台って楽しそうだな〜」「花の台のような場所があっていいな〜、安心だな〜」と思ってもらえるとうれしいです。

明日は、地域の人たちに花の台を知ってもらういい機会です。

子どもも大人も、みんなで力を合わせて ことま祭り&バザーを成功させましょう!

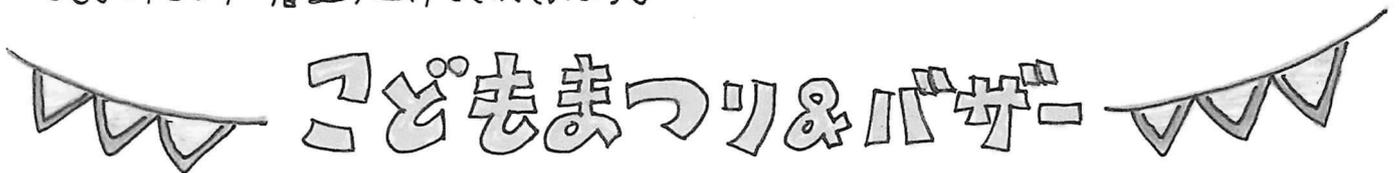


～ ことま祭りの生い立ち紹介 ～

「花の台ことま祭り」は、1992年にスタートしました(花の台ホールは1985年スタート)。

その頃、花の台には、父母会行事がたかこ取りでしたが、つくらいいは子どもたちが主体となって準備や運営していく行事をやってみたい、ということで、①子どもたちで協力的計画してまつりを作る、②学校の友達や地域の子供たちと交流し、花の台を見てもらう、知ってもらう、という目的で始めました。最初は花の台ホールで開催し、子どもと指導員で計画し、父母は10人ほどがお手伝い参加してくれました。利益は目的がなかなかったので、教材費と材料を準備して、日頃花の台でやっている工作やあそびを無料で楽しんでもらい、庭でとれる工賃も焼売もにしたり...というやり方でした。

その後、第4回(1996年)から、父母会も一歩ずつ協力して、ことま祭りを盛り上げ、ついでにバザーをやって資金を稼ごう!というこじこじ、場所をたつ公園に移し、父母会としてバザーと模擬店を始めた。今では、OBOGの子どもたちがスーパーボールすくい、後援会(OBOG父母)が応援つき等で、ことま祭りをより一層盛り上げてくれています。



プラバン

前半 ダイヤモンド (④・なつき・⑤けいと・さき・のぞむ・はるか)

後半 ルビー (②・ななこ・えま・けいた・ひかり)

担当班は、ダイヤモンド、ルビー。全員がそろわない中で、9月末にプラバンのお店の説明をして、プラバン削りをはじめました。その後個人ごとにプラバンに下絵を描いて色塗りして仕事をおぼえてもらいました。焼く係だけ事前に練習しました。

リハーサル当日前半はダイヤモンド、受付のここちゃんは、おつりが足りなくなるハブニングがありました。その後は上手に対応してました。おしえる係のさきちゃんは下絵を見せたり、テープを貼ったりして教えてました。のぞむ君、けいと君はテーブルの前に座って声掛けしてました。ときどき片付けもしてました。焼く係、なつき君は数回練習したので、とても上手に焼けました。焼いたプラバンを本に挟める係のはるかちゃんはテープを貼って、冷めてからゴムひもを付けてました。

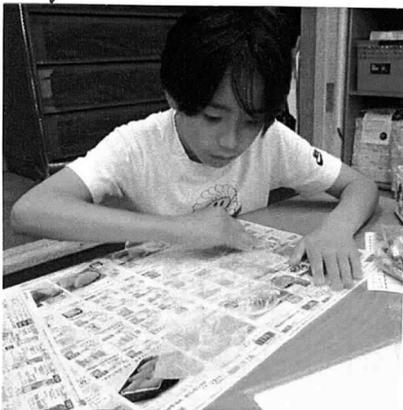
後半は、受付、ななこちゃんもおつりが足りなくなることもありましたが、その後は上手に対応してました。おしえる係のひかりちゃんは教えたり、片づけたりしてくれました。

こう君は前回もプラバンの担当だったので、上手に焼いて本に挟めてくれました。えまちゃんはゴムひもを付けました。

反省会では、リハーサルに参加出来なかったけいた君も参加してくれました。おつりが足りなかった。おしえるのがむずかしかった、楽しかった。疲れた。アルミホイルにプラバンがくっつくなど、いろいろ意見が出されました。本番まで、みんなと話し合いながら準備していきます。当日、沢山のお客さんが来てほしいですね。ぜひ子供たちの頑張る様子を見に来てください。

菅原

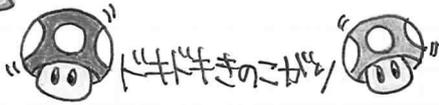
まずはプラバン削りから



お金をもらうお店なので
失敗のないようにたくさん練習



まぐらたたき



担当 かつー

13年目となるまぐらたたきの今年のテーマは、「きのこがし」です！子どもたちと話し合いから始め、今年流行のもの？秋らしいもの？今までやったことのないもの？を考へ、「きのこがし」に決めました。ただ叩くだけはおもしろくないので、13年間の的を毒きのこにして、毒きのこを叩いてしまうと、3秒的が出てこない状態になるという新ルールをアイデアとして出してくれました。

基本、このまぐらたたきは、ゲームセンターにあるような7こを叩くゲームと一着者ですが、ゲームセンターと違うのは、的を子どもたちが手動でお出し、点数も自分たちが数えます！ここが大変なところでもあります、やりがいのあるところでもあります！

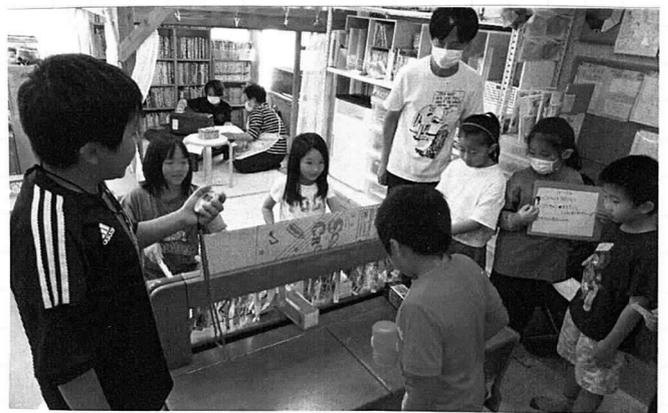
本番に向けて、「受付で名前を聞く」「ルールを説明する」「的を出す」「点数を数える」「時間を計る」の係を練習してきました。当日は係を交代しながらお店番をします。

お母さん、お父さんたちもお店の係が大変だと思いますが、子どもたちが一生懸命やっている裏側を見て、応援していただけると嬉しいです。

前半 ひより・ゆきの・れん・ありさ・つむぎ・こうき

後半 ③ここ・じん・はるき・しづく・ゆすほ・くるみ

ハートビル・牛乳100%の
ご協力ありがとうございました！



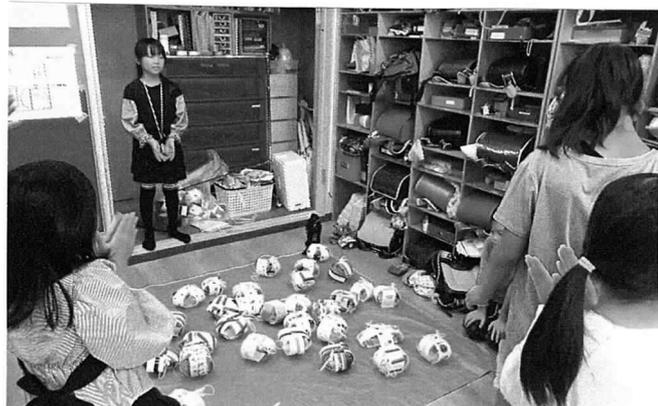
的を手動で出すので、お客さんにたたきやすい位置まで出したり、スピードも重要です。おやつ後、たくさん練習してきました。



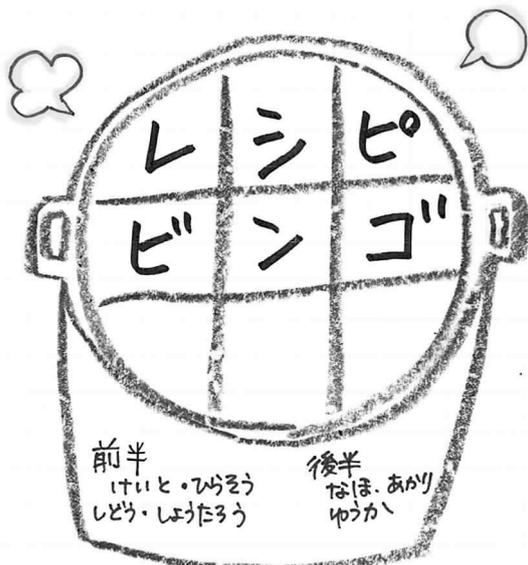
ポンポンであそぼう！ 前半 あおい ゆうと いちか ひろき けいな
 後半 そうⓀ かな かなで かずまさ ことね すす
 今年もSDGsで牛乳の空きパックを利用したのポンポン釣りのお店に決まりました。リハ当日までの日にちを数えると2週間です。早速、先輩が空きパック集めのポスターを作り張ってくれました。集合したら話し合いをして直ぐに作業に入り、また次の作業のための話し合いをしました。景品は話し合いで釣り上げたポンポンの中から1個をあげる事に決まりました。130個～150個のポンポンが必要となり、1週目はひたすら牛乳パックに絵を描いたりシールやカラーテープなども利用しながらポンポンを作り続けました。どの作品も個性的で素敵です！（放課後の公園遊びは我慢してくれました）2週目はからはホチキスでポンポンの形に組み立てる人と輪ゴムを通すために穴をあける人、その小さな穴に輪ゴムを通す人、絵を描いてくれる人に分かれての作業をしました。紙が厚いため大変な作業でしたが頑張ってくれました。50個のポンポンが形になってリハーサルの日を迎える一歩手前まで来ました。後は釣り竿です。前の年に使った物を手直しをして使う事で話が一致しました「私やるよ、ぼくやるよ」と進んで仕事をしてくれました。リハ当日に使うゲームの説明カードが出来ていない事が発覚した時も「前の年に使ったカードの文をふまえて、今年用に私作ってくる」と言って持ち帰ってくれた子もいました。みんなの優しい力が合わさり11日のリハーサルを迎える事が出来ました。リハの日の仕事では初めての1年生には班長さんが組んでくれて仕事を一緒にしてくれました。それぞれが担当の仕事をこなすことができ、反省会では全員が自分の考えを言うこともでき、1チームになっていました。ひとつになったチームで本番を迎えられます。笑顔でこどもまつりを楽しもうね!!

担当 桜井

牛乳パックのヨーヨー(ポンポン)
 150こくらい作りました!



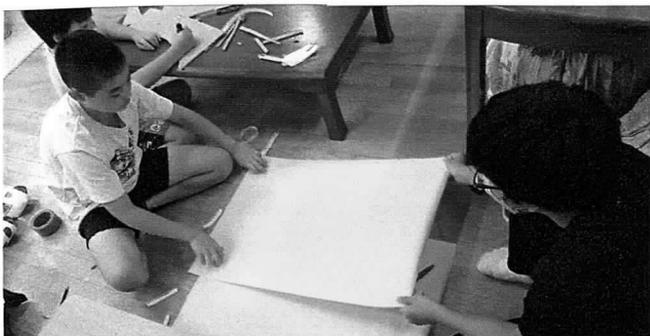
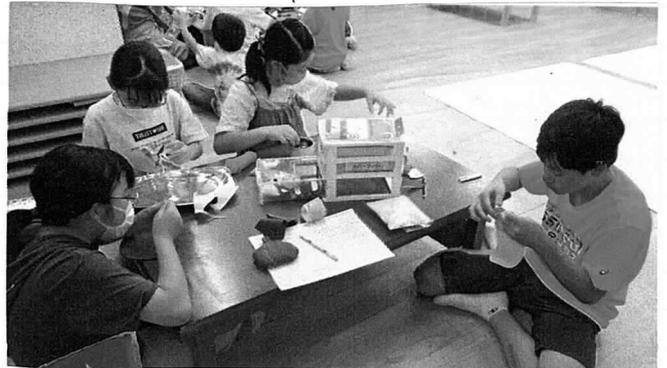
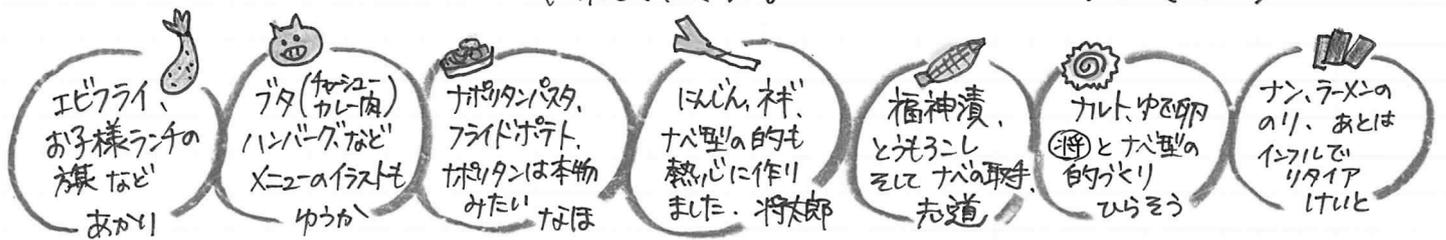
小さい子が来てもうまくつれるように工夫をしました。

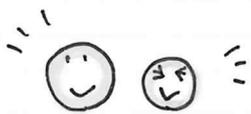


6年生当日の持ち物・エロン

今年は、コロナ前に戻って、6年生だけでお店を担当します。いろいろ話し合った結果、料理の食材をナベの的に投げ入れてたきんビンゴをつくっていく 的入れビンゴのお店になりました。

メニューはカレーライス・ラーメン・お子様ランチの3つ。みんなで、新聞紙や、毛糸、フェルトを使って食材を作ることからスタートしました。6年生なので裁縫をしても安心して任せられました。食材が出来たあとは、男子がナベの形の的作り、女子が看板や盛り上げグッズを作りました。当日は、ぜひ渾身の力をこめて作った食材を見に、あそびに来てください。 担当(とか)





こどもの様子



どんぐり

今年もつば公園に たくさんの マテバシイが実りました。

子どもたちは、どんぐりグエ 
どんぐりゴマ  を作ったり、ホヌカ
で絵をかいてペンダントやストラップに
していました。

マテバシイは、比較的アクが少なめ
なので、フライパンで煎って食べたり
もしましたが、将太郎くんによると
やはりスタジイの方が美味しいのだ
そうです。

将太郎くん 佳斗くん 優斗くんたちは
遠い宮崎オ1少年野球場まで
スタジイを探りに出かけて、食べ
たい! という子たちに煎ってふる
まっています。

ニラそうさまでした。



町たんけん

10/3

宮崎小2年の紬ちゃんのクラスの子どもたち
が、町たんけんて 花の台ホールに来てくれ
ました。

いくつか質問を受けたあと、自由にあそび
コマ、おえかき、マンカラ、リカちゃん、トランプ、
などであそんでいましたが、ロフトが人気
でのぼってすごく楽しんでくれました。

「花の台に行きたいな〜」と言ってくれ
る子もいました。

カナハビのハピ〜

10/17

昨日からトカゲさがしをしている2年生の女子、
今日も裏の公園で探していると、小さめの
カナハビを発見!

逃げるカナハビ、追うひろきでしばらく
攻防が続いたが、ついにひろきがカナハビを
捕える。トカゲを探していた 紬、詩月、
瑋音 ちん ちん ちん にあげる。3人は飼育ケースに土
や木の枝を入れ、水飲場も作りカナハビの
お家を作る。

名前は「ハピ〜」ひよりちゃんから、名前には
その子の性格を表わす一文字を入れるといよ
とアドバイスを受け、はすかしがりのカナハビ
だから「ハ」の文字を入れ、飼育主3人の名前
が、全員3文字だから「ハピ〜」と3文字の名前
にしたらしい。とてもかわいらってます。



コロナになって、こどもまつりもしばらくできず、こどもまつり用の旗に押す手型も2020年からやっていませんでした。

1年~4年の子どもたちの手型を今年まとめて押しました。



この旗の前で子どもたちみんな写真をとります



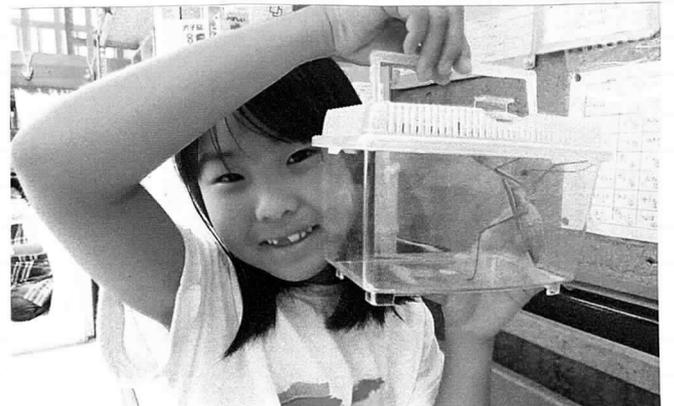
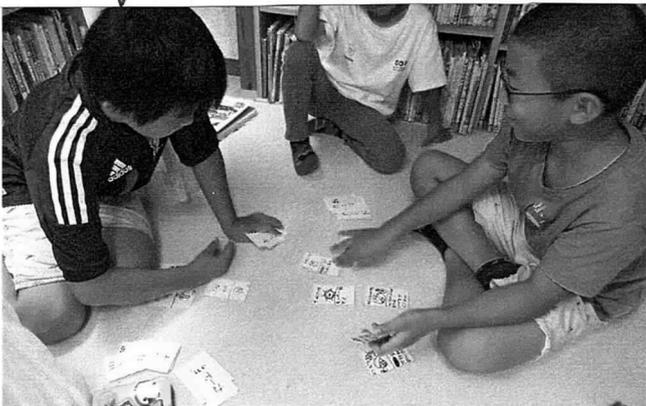
手づくりドールハウス、スイッチやパットのタケ、ランドセルの教科書、筆箱まで自分たちのリアルな生活が細かく表現されています



下校途中にみつけた大カマキリ

カードカードゲーム

岸さんから大量にもらった名刺サイズのカードで、ポケカのようにオリジナルのカードを作り闘っています。自分たちで考えた技がおもしろいです。



9月13日(水)

4年生と5年生話し合い

新しい班に代わる前に、今の班長さん
をみて、「いいところ」「よくないところ」
を具体的に挙げてみました



こんな班長さんがいい!

おやつを自由席で食べる時、
どうしていいかわからず困っている
1,2年生に、どうやたらいいか
話をきいて解決している

テーブルを一人で運んでいる人
がいたら、さっと手伝っている

1,2年生とSケンをする時、「手加減
するね!」と声を
かけている

1,2年生が「ドロケイやりたい」と
言うと、他の人もさそってドロケイ
をやる。あそびをつくる

ふざけて盛り上がる時と
まじめにやる時のけじめ
をつける

一人であそんでいる人に
声をかけて一緒に
あそんでいる。つきあう

お茶をこぼした時すぐ重たく
(雑巾もってきてふく)

みんなの会の時
ふざけている人に注意する

おにごっこで鬼の人数が
足りない時「入るよ〜」
と言って自分からやってくれる

ペーパータオルのゴミ箱
からゴミがあふれている
時、ぎゅっと押しこんで
片付けていた

おやつ自由席の時、
1,2年生に声をかけて誘っている



こんな班長はイヤだ!

言葉づかいが強かったり
こわかったりする

だれかがふざけていると
それにのっかって更に
ふざける

おやつ時、自分の班員の
ことを見ずに、となりの班の
仲良い人とずっとならべて
いる

悪口を言っている人を
注意しないで
見て笑っている

話し合いの時 自分の意見を言わない

オモチャの片付けを
他の人に
まかせて
自分はやらない

みんなの会やおやつ時 うるさい。
注意しても「それってあなたの感想ですよね」
と言ってやめない

日直が
がんばっていても
おしゃべりがうるさい

仲良くだけやさしくて
そうでもない人にやさしくない

仲良くだけでかたまって
まわりの人のことをみていない

4年生 話し合い

今回、4年生から3人の班長を選ぶことになり、
4年生だけで話し合いをしました

9人の4年生の中で班長になりたいのは7人（はるき・なおき・いちか・ゆきの・かなで・ななこ・はるか）
では、どうやってその中から3人を決めようか？

話し合い派 
なおき・はるき・ゆきの・はるか

- 投票はサベツが出るからいや、暴れてない人の方が選ばれるから話し合いがいい
- 投票だと信頼されている、されていないで分かれてしまう。
ぶざけている人：ぶざけない人、静かでない人・静かな人に分かれるから話し合いがいい。
- 話し合いの方が理由があるし根拠があるし みんな納得すると思う
- 投票はいっぱい票が入った人 入らなかった人で傷つく人もいる
- 自分の良くないところ、がんばるところを一人一人順に言って話し合うのが平和

投票派 
ななこ・かなで・いちか・れん

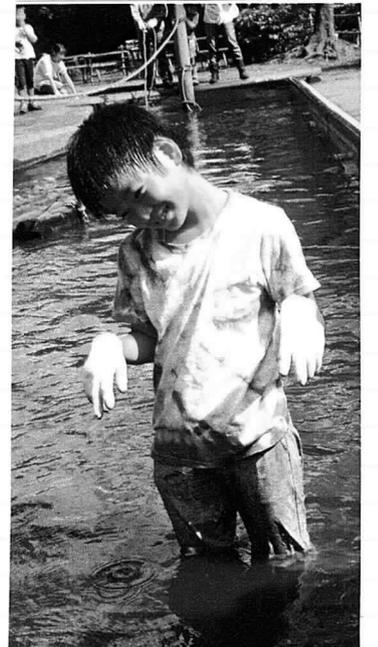
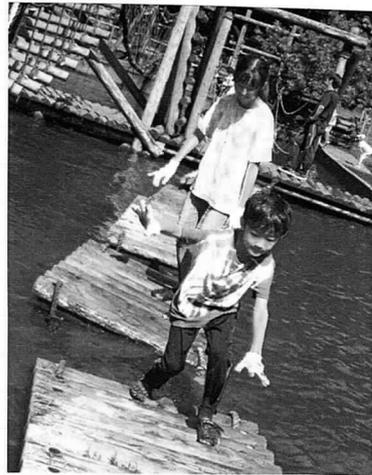
- 投票だと、みんなから班長になった方がいいと思われる人が選ばれるから投票がいい。
- 信頼されている人、されていない人というけど、班長になれなくても信頼されていないわけ
ではないし、投票で票を入れてくれる人もいるから、今回班長になれなくても次に
自信をもってがんばっていけばいいと思う。次がんばろう、と分かちあえればいいのでは。
- 仲が良いというだけで票を入れると本当はぶさわしくない人が選ばれるかもしれない
から、仲よしというだけで投票をしないように気をつける

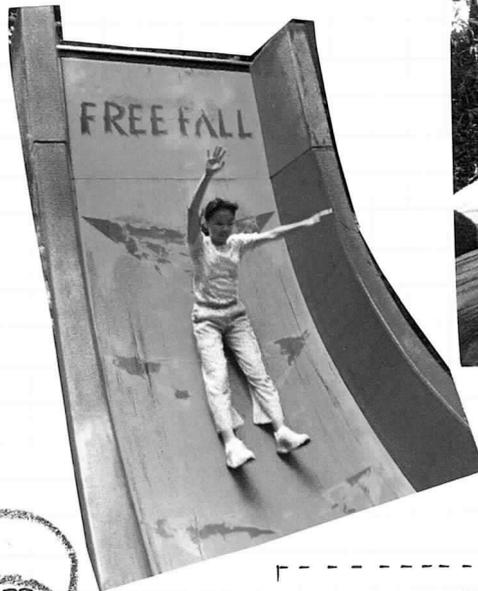
ジャンケン派 
かずまさ

- ジャンケンは運なので、負けた人も運、勝った人も運で傷つかない!!

結果としては、話し合い派の人も「いいところ、ダメなところを出し合った後、やっぱりみんなやりたい
というところになったら、どうやって決めるの？」というところで行き詰り、ななこちゃんから「4年生だけ
で投票する？」という提案で、全員OKということになり、4年生だけで投票となりました。
今回班長になったのは、ななこちゃん・なおきくん・ゆきのちゃんです。

つくし野 アスレチック 1%





ととね くさみ れん
 ↓ ↓ ↓



問題

フリーフォールの上に
 座る3人。
 上からみると、90度?!
 と思うくらいの角度に
 しばし動けず...。
 この緊張を破って
 1番にすべりおろした
 のはだれでしょう?

答えは ととねさんへ...
 ...

早朝まで降った雨で、少し足元は
 濡かったのですが、ケガもなく、それ
 が好きなエリアで小グループに
 命がけてあそびました。お気に入りのア
 スレックを何度もやったり、順路に沿っ
 たたくさんのアスレックをクリアしたりして
 楽しみました。

0Bの陸くんが引率お手伝いに来て
 くれて、とても助かりました。
 集中している姿、勇気を出して挑戦
 する姿、そして笑顔がいっぱいでした。